



国労せんだい

こくろうせんだい 速報版

号外
2019年3月9日
発責 五十嵐 敬
編責 武田 昌仙

中央交渉を押し上げる！

国労東北 要求獲得を意思統一



仙台市内を整然とデモ行進

3月8日、仙台市内において国労東北総決起集会が開催され36人の国労東北の仲間が結集した。

仙台市・ホテル法華クラブでの集会は二部構成で行われ、第一部として、財団法人国鉄労働会館主催の東北労働講座が行われた（左記）。

第二部は、国労東北総決起集会が行われ、主催者を代表し、東日本本部大沼委員長と東北協議会佐藤浩一議長がそれぞれあいさつ

善に向けた課題」と題した講演が行われた。

平塚氏は冒頭、長沢運輸訴訟（定年後再雇用の著しい賃金格差の是正）の最高裁判決について、手当を含む賃金の項目別に「不合理」「不合理ではない」等の説明を行った。

その後、私たちの関心が高い「年金問題」につ

労働講座 再雇用者の処遇改善に向けて

第一部の東北労働講座では、平塚秀明税理士による「再雇用者の処遇改善に向けた課題」と題した講演が行われた。

平塚氏は冒頭、長沢運輸訴訟（定年後再雇用の著しい賃金格差の是正）の最高裁判決について、手当を含む賃金の項目別に「不合理」「不合理ではない」等の説明を行った。



講演する平塚税理士

一口に「年金問題」と言ってもその課題は多岐にわたる。平塚氏は公的年金の現状から始まり、老後に必要な資金額、私たちが一体どの程度の年金が支払われるのか、また年金の支給開始年齢の繰り上げ、繰り下げ支給のメリットとデメリットを分かりやすく説明。



自らの要求をシュプレヒコールで訴える

を行い、春闘情勢とJR会社の動向、国労の取組み、19春闘勝利と諸課題の前進を図る取り組みを通じて、未組織

を進行、春闘情勢とJR会社の動向、国労の取組み、19春闘勝利と諸課題の前進を図る取り組みを通じて、未組織

また在職老齢年金の減額、いわゆる「28万円のカーブ」についても、その仕組みと計算方法を事例を交えて丁寧に説明した。

最後に、「長生き」という将来のリスクに備えるものではない、退職金に手を付けず日々の生活費が賄えるのであれば、年金の支給年齢を「繰り上げしない」という選択が正しい」と

友誼団体からあいさつを受け、東北三地本の各代表と東北貨物協議会議長からは、「春闘の闘いを通じて組織拡大を」「ストライキで要求を勝ち取るう」など力強い決意表明を受けた。

集会後に参加者は4隊列に分かれ仙台市内をデモ行進。賃上げを求めとした労働条件の改善や安全問題などの国労要求をシュプレヒコールで市民にアピールし、氣勢を上げた。



支社前チラシ配布行動